

2017年の視察報告会の様子をご紹介します。

2 017年11月1日、JCVの支援企業である三井化学株式会社のご協力を得て、視察報告会を行いました。

ミャンマー視察に参加した早見優さんにもお越しいただき、視察で見たこと、感じたことを写真と共に振り返りながら話してもらいました。さすがのトーク力で、会場は一気に和やかな雰囲気になりました。

次に、10月のラオス視察に参加した皆さんにご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。CSRの考え方やアプローチについて、そして子どもワクチン支援の今後の展望について一緒に考えました。JCVの海外視察の特徴の1つは、インクルーシブであること。ペットボトルキャップの洗浄や仕分けの仕事をしている障がい者の方が、社会福祉施設のスタッフと一緒に毎年参加しています。「障がいを持っていても、社会の役割を担っていることを伝えたい」というメッセージを発信していただき、参加者にとって大変心に残るパネルディスカッションになりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

子どもワクチン支援について、より多くの方のご理解とご協力を仰ぐべく、これからもこのような報告会を開催していきます。



ご挨拶

理事長 細川佳代子

JCVを応援してくださっている皆さま、いつもあたたかいご理解とご協力をありがとうございます。

新 しい年を迎えました。私がJCVを立ち上げたのは1994年。今年で創立24年です。この間に、ワクチンで予防できる感染症で命を落とす子どもの数は1日8,000人から4,000人に半減しました。嬉しい反面、それでも、小さな命が日々失われていることを考えると胸が苦しくなります。設立から年月が経過し、支援国から要請されるワクチンの種類や内容にも変化が見られるようになりました。これからも、各国のニーズと寄り添いながら、時代に合った支援を続けてまいります。引き続き、子どもワクチン支援へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



2017年の支援実績 合計1億2,095万6,155円

- ミャンマー 5,684万7,347円(保冷库、接種機材)
- ブータン 2,176万0,325円(BCG、経口ポリオ、コールドチェーン等)
- ラオス 2,154万0,481円(BCG、日本脳炎、接種機材)
- バヌアツ 2,080万8,002円(5価、接種機材、コールドチェーン等)

詳しくは、こちらから：<https://www.jcv-jp.org/activity>

